

件名	第20回 筑西市学校の在り方検討委員会 について		
日時	令和5年9月26日(火) 午後6時30分～7時30分	場所	スピカ6階 コミュニティプラザ
相手方	筑西市学校の在り方検討委員会委員及び 当委員会アドバイザー 南教授 別紙のとおり(欠席3名) オブザーバー(財務部):松岡部長、吉水次長、 坂谷次長兼管財課長、大山補佐、小野塚係長	出席者 (対応者)	小室教育長、鈴木教育部長、島村次長、 池田次長、根本学務課長、木村参事兼 指導課長、市塚次長兼義務教育学校整備 課長及び課員(市村、大畑、大木、 栗原、長尾、山田、報告者)
<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ 爲我井委員長</p> <p>3. 報告 (1) 前回の振り返りについて ⇒ 質疑なし</p> <p>4. 協議 (1) 答申(案)について 【質疑】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・答申(案)では、「義務教育学校(施設一体型)の設置、又は小学校の統合による学校の適正配置」とあるが、協和中の敷地を考えると施設一体型とした場合、グラウンドの面積が減ってしまう懸念がある。小学校の統合とした場合は、新治小学校に統合する形になるのではと思うが、施設分離型の義務教育学校も選択肢の一つとしてあるのか。 ⇒図面上に約3,000㎡の校舎を配置した場合のシミュレーションしたところ、東側に設置ができそうであり、敷地的に施設一体型は可能ではないかと考えている。 これから、まずは協和地区に入って地域に説明させていただいて、義務教育学校か小小統合かは地域の方の声を聴いて、方向性を見出していきたいと考えている。</li> <li>・少人数であることのメリットもデメリットもある。保護者の意見に配慮して進めていただきたい。</li> <li>・保護者の意見を十分にきいて検討していただかないと決めるのは難しいのではないかと。先程の事務局の回答で施設一体型の義務教育学校を設置した場合のシミュレーションがあるとのことだったが、そういった資料も見せていただきたい。 ⇒シミュレーションといっても、詳細な設計等ではなく、図面上に3,000㎡の四角形が収まるかを確認した程度のものであるが、イメージが湧きやすいかと思うので、協和地区の協議会等に入った段階でお示しできればと考えている。</li> <li>・協和中学校の敷地に施設一体型を作った場合、協和中の前の道路の先は片側ずつじゃないと通り抜けできないような細さになっている。明野五葉学園でも道路の渋滞が予想されているが、協和地区の場合、道路状況についてはどのように考えているのか。 ⇒まだ施設一体型にするか、などの方向性が明確になっていないところだが、これから協和地区で協議会を立ち上げた後、問題点などご意見をいただいて検討していきたい。小小統合でもスクールバスの問題は出てくると思う。こちらからも問題提起等させていただいて、協議を進めていければと考えている。</li> <li>・校庭が手狭だと感じている。西側の方に拡張することができるのではないかと。市としてはそのような考えはあるのか。今あるところに設置することを前提にしているだけでは議論が行き詰まるような気がしている。校庭を西に広げるとよりよくなると思う。</li> <li>・これから協議会を立ち上げてから、いろいろな課題が出てくると思うが、皆さんの意見を参考にさせていただきたい。</li> </ul>			

○答申（案）について

⇒案のとおり、承認

(2) その他

・今後の進め方について

【質疑】

- ・この在り方検討委員会のメンバーについて、今後協和地区で取り組むのであれば、現在入っている委員以外にも協和地区の学校の校長先生やPTAにも入っていただいた方がよいのではないか。
- ・地区協議会のメンバーについて、PTA 会長は1、2年で代わってしまうことが多い。下館北中の統合のときも数年かかったが、最初から最後まで携わった方は少なかった。入れ替わりが激しいとその度にこれまでの経緯の説明が必要になり、協議が進まないこともある。なるべく長く携わってくれる方をお願いできないか。  
⇒市の在り方検討委員会のメンバーは、これからも現在の構成でいきたいと考えている。協和地区の協議会や準備委員会等には、協和地区の他の学校の先生方や地域の方に入っただけ。長く携わっていただけの方に入っただけのは大事だなと感じている。今回のご意見を参考に進めていきたいと考えている。
- ・長く携わってくれる人にやってもらえれば楽だが、次の人にきちんと引継ぎができていれば問題ないと思う。長く携われる人ばかりではない。ルールを決めてしっかり引き継いでもらうとよい。新しい人に代わることで、別の視点の意見が出て、さらによくなることもあるのではないか。  
⇒これまでの経験から、長く携わってくれる方がいると経緯もわかっているところで合意形成が進みやすいということだと思う。
- ・長く携わってくれる人はそれでいいが、難しいのであれば、それに対する策を考えることも必要である。  
⇒これから地区に入っていくにあたって、引継ぎ体制も含め、いただいたご意見を参考に進めていきたい。

(アドバイザーの南教授から、学校の適正配置等に関するアドバイスをいただいた。)

5. 閉会

以上